



TITLE:

和歌山県産の矮小なクマゼミ(半翅目, セミ科)

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県産の矮小なクマゼミ(半翅目, セミ科). KINOKUNI 2017, 92: 18-18

ISSUE DATE:

2017-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228382>

RIGHT:

発行元の許可を得て登録しています.

ようになる傾向もあった。

引用文献

久保田 信. 2016. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内でのクマゼミ（半翅目，セミ科）の一日の鳴き始め時刻の月変化（2016年）. KINOKUNI, (90): 22-23.

（くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）

和歌山県産の矮小なクマゼミ（半翅目，セミ科）

Dwarf *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) in
Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

体長が通常6-7 cmで、日本産のセミ類では最大級であるクマゼミ *Cryptotympana facialis*（半翅目，セミ科）は、関東以南に分布する夏季出現種であるが、近年、秋季になっても和歌山県白浜町では遅鳴きが聞こえる（久保田，2016）。

以前、本種の小型個体に佐賀県で遭遇したが、今回、和歌山県でさらに小型個体を発見したので報告する。

2017年8月26日早朝（8時過ぎ）、和歌山県田辺市の新庄公園の田辺市立美術館付近で、クマゼミの相当小さい個体が発見された。クマゼミしぐれも下火になった頃に発見されたこの死体は雌で、体長30 mm、最大体幅17 mm、後翅長27 mmであった（図1）。従って、本個体は体長が通常の半分位の大きさの奇形であろう。なお、佐賀県産の個体が体長41 mm、最大体幅17 mmで、白浜町産の雌が体長44 mm、最大体幅21 mmであったので（久保田，2013）、本体はこれらよりもはるかに小さい。

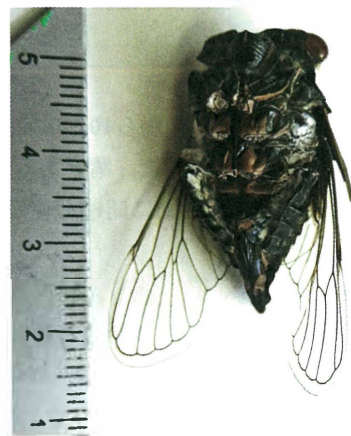


図1 新庄公園で発見されたクマゼミの矮小個体

引用文献

久保田 信. 2013. 佐賀県鹿島市の小型のクマゼミ（半翅目，セミ科）. くろしお, (32): 30.

久保田 信. 2016. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内でのクマゼミ（半翅目，セミ科）の2016年の遅鳴き. KINOKUNI, (90): 15-16.

（くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）